

放課後等デイサービス事業 立川らびっとくらぶ

平成31年度 事業計画書

合同会社サポートウィズ

1. 基本理念

合同会社サポートウィズ 立川らびっとくらぶは地域の子どもたちの居場所が安全で安心できて楽しめるようにするために、放課後等デイサービス立川らびっとくらぶを運営していき、利用児童とその家族、地域の学校や他の福祉サービスと深い連携をとっていく。子どもたちの特性を理解し、それぞれに必要な支援の方法と内容を探し求めていくことを基本理念としていく。

2. 運営理念

- ・それぞれの年齢と興味に合った遊びの中で、楽しみながら育つこと。
- ・大人も友達も含めた周りの人と、自分らしく関わっていけるようにすること。
- ・学校や家庭などの子どもを取り巻く環境を知り、深い連携をとること。
- ・子どもたちの1年先、5年先、10年先を考えていくこと。
- ・子どもたちがどこに行っても、自分らしく生きていけるようにすること。
- ・保護者の方に信頼してもらい、子どものことを一緒に考えていけるようにすること。

3. 基本目標

開所から4年を経て、利用児童は29名の登録となる予定である。(平成31年4月1日見込み) 兄弟姉妹の受け入れも多くなり「きょうだい支援」の側面からも日々の支援に工夫が必要になってくるため、さらに家族支援、相談受付をすすめていく。

週1回の利用の児童から週5回の利用の児童までと利用日数の幅がある中で、それぞれの児童が利用を楽しみにできるような活動内容と環境を整えていく。具体的には誕生会や外出の機会を均等に提供できるように曜日を固定せずに、計画を立てていく。また発達とともに興味や能力も変化していくことを念頭に、コミュニケーションツールとしての遊び道具も固定することなく、児童に応じた提供をしていく。

4. サービスの特徴

- ・利用児童への個別支援・・・スタッフの加配配置により、さらにきめ細かい支援を行なえるようにしていく。職員配置は、常勤4名（児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員2名）、パート5名（児童指導員2名、作業療法士1名）とする。

・保護者との連携・・・6ヶ月に1回のサービスモニタリングの他にも、必要に応じて個人面談をおこなっていき、家庭での様子・学校での様子を聞いていく。家庭訪問なども活用して、保護者の話しやすい時間帯や場所を設定していく。

・信頼される情報公開・・・ウェブサイトは外部向けに充実させていくが、利用児童の保護者の方への情報提供をさらにすすめ、当事業所の内容に限らず、利用している他サービス全般の相談にも対応できるようにしていく。具体的には、関連サービスの情報提供をできるよう他事業所のパンフレットや案内書を収集しておく。

5. 情報公開について

保護者への適切な情報提供をすすめていくとともに、平成29年7月にリニューアル公開したウェブサイト上で、施設の情報開示をすすめ、国の方針に則った開示義務を全うしていく。さらに当サービスについての解説や説明、よくある質問などを掲載していくようにすることで、サービスの理解を深めていきたい。

6. 防災・災害対策について

1年に2回、3月と9月に地震を想定した避難訓練を行なう。

防災マニュアルの周知徹底をする。具体的には保護者へのマニュアルの配布、全スタッフへの教育、防災研修への参加を計画する。(9月)

7. 個別支援計画書の作成

支援の指針となる個別支援計画は、誕生日、その6ヶ月後(必要な場合はその都度)に、保護者との個人面談を設けて作成していく。昨年度は一部のみしか実現しなかったが、今年度はさらに相談支援員との連携を深め、保護者了承の下で担当する相談支援員の同席を実現していく。

8. 学校との連携について

運動会、学校公開、説明会など各学校が開催しているものには積極的に参加し、利用児童の環境理解の助けにしていく。また学校の担任やカウンセラーと積極的に話し合いの場を設けていく。さらに支援者会議の開催についても、らびっとくらぶから発案をしていき、他事業所が深く支援に関われるようにしていきたい。

9. サービスの質の向上について

立川市放課後等デイサービス連絡会を通して、市内事業者との連携を深めるとともに、放課後等デイサービス事業全体の質の向上を目指していきたい。さらに今年度も、利用が重複する児童の支援は他市であっても積極的に支援会議の開催や研修会の提案をしていきたい。